



2022年
7月6日
No.A22-03

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2022年6月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・6月15日(水)、セルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使「ロシアによるウクライナ侵略の地政学と経済」(於：オークラ東京)



(2) 中東情勢オンライン講演会

・6月10日(金)、青木 健太 中東調査会研究員「ターリバーン暫定政権の対外政策とアフガニスタン・中国関係」(Zoom形式)



<要旨>

大使より、ロシアによるウクライナ侵略を受けての最新の状況、とりわけウクライナ政府及び国民の立場について説明がなされた。また、ロシアによるウクライナ侵略の地政学的含意、アジア地域や経済に与える影響、並びに、国際社会に求められる対応等が考察された。

・6月28日(火)、後藤 謙次 ジャーナリスト、共同通信客員論説委員「参院選の情勢と岸田政権の行方」(於：オークラ東京)

<要旨>

講師より、これまでの参議院選挙の特徴や、歴代内閣の政権運営の方法について説明がなされた。また、選挙に際しての与野党の動向や参議院選挙の展望、岸田政権が抱える課題などが考察された。

<要旨>

青木研究員より、昨年8月のカブール陥落以来のアフガニスタン情勢、とりわけターリバーン暫定政権が何を課題とし、それにどう取り組んできたかについて、ターリバーン内部の構図、中国を中心とした対外関係、日本がなしうるアフガニスタン安定化に向けた支援等について説明がなされた。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- 2022年6月号(2022年7月6日付)
- 1. サウジアラビア：バイデン米大統領のサウジ訪問をめぐる思惑
- 2. エジプト：湾岸アラブ諸国との活発な首脳外交
- 3. トルコ：チャウシュオール外相とロシアのラヴロフ外相との二カ国協議実施
- 4. イスラエル：国会解散、11月1日に総選挙
- 5. イラク：サドル派議員の一斉辞職
- 6. イラン：中央アジア諸国との経済関係を強化
- 7. アフガニスタン：インドがターリバーンとの関与を再開
- 8. モロッコ：ナイジェリアとのガスパイプライン建設構想の進展

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- No.03「イランの「ルック・イースト」政策から見る外交方針」(6月8日)
- No.04「民間軍事会社「ワグネル」の中東・アフリカ進出——地中海からアフリカに広がるロシアの影響力——」(6月22日)

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- No.02「モザンビークにおける「イスラーム国」の伸張」(6月8日)
- No.03「アフガニスタン制圧後のターリバーンとアル=カーイダの関係」(6月10日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(4) 中東かわら版の発行

- No.27「チュニジア：労組が6月16日にゼネスト実施を予告」(研究員 高橋雅英、6月1日)
- No.28「イエメン：国連による2カ月間の停戦延長発表をフーシー派が評価」(研究員 高尾賢一郎、6月3日)
- No.29「イスラエル・レバノン：カリシュ・ガスタ田をめぐる対立」(上席研究員 金谷美紗、6月6日)
- No.30「イラン：IAEA 非難決議の採択とイランの反応」(研究員 青木健太、6月9日)
- No.31「アルジェリア：スペインとの友好協定及び貿易の停止」(研究員 高橋雅英、6月10日)
- No.32「チュニジア：ナフダ党が国民投票と議会選挙をボイコットへ」(研究員 高橋雅英、6月10日)
- No.33「イラン：革命防衛隊員・科学者らの相次ぐ不審死」(研究員 青木健太、6月14日)
- No.34「リビア：トルコ軍のリビア派兵期間の延長」(研究員 高橋雅英、6月14日)
- No.35「イラン：ベネズエラと20カ年包括的戦略協力文書を締結」(研究員 青木健太、6月15日)
- No.36「バハレーン：最大規模の内閣改造を発表」(研究員 高尾賢一郎、6月16日)
- No.37「イスラエル・エジプト：欧州への天然ガス輸出に関する協力合意」(上席研究員 金谷美紗、6月16日)
- No.38「イスラエル：ベネット首相とラピード外相が国会解散を発表」(上席研究員 金谷美紗、6月21日)
- No.39「アフガニスタン：南東部でマグニチュード5.9の地震の発生と国内外の反応」(研究員 青木健太、6月23日)
- No.40「サウジアラビア：ムハンマド皇太子のエジプト・ヨルダン・トルコ歴訪」(研究員 高尾賢一郎、6月23日)
- No.41「イラン：ボレル EU 上級代表によるテヘ

ラン訪問を経て、核合意再建に向けた協議再開が決定」(研究員 青木健太、6月28日)

No.42「イスラエル：ネゲブ・サミット運営委員会初回会合をマナーマで実施」(上席研究員 金谷美紗、6月28日)

No.43「トルコ：フィンランド、スウェーデンのNATO加盟容認」(研究員 金子真夕、6月29日)

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(5) その他の活動

・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会と地域 1/中東諸国の成り立ちを理解する」へ当会研究員が出講した。

- ① 「中東のなかのイラン、その政治と安全保障」(研究員 青木健太、6月1日)
- ② 「政治学に基づいて読み解くイラン核合意と米国・イラン対立」(研究員 青木健太、6月8日)
- ③ 「マグリブ諸国の近現代史：反植民地闘争と国家建設」(研究員 高橋雅英、6月15日)
- ④ 「リビアの国家建設」(研究員 高橋雅英、6月22日)
- ⑤ 「世俗主義国家トルコの成り立ち(1)：世俗主義とはなにか。トルコはなぜ世俗主義を目指したのか」(研究員 金子真夕、6月29日)

3.7月の予定

- ・7月20日(水)、14:00~15:30、第25回オンライン中東情勢分析発表会(研究員 高橋 雅英「フランスの中東政策——湾岸諸国との関係強化の狙い——」、研究員 金子 真夕「トルコとNATOの新展開」)(Zoom形式)
- ・7月27日(水)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(鈴木 浩 外務審議官「G7サミットを終えて(仮題)」) *法人会員

限定

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。